

相談を受ける方、ご自分や家族・友人のお酒の飲み方が気になる方、どなたでも歓迎

# お酒、どんな 飲み方が 危険？



依存症までの男女の差

2019年 **11月13日(水)**

午後1時半～3時半

@ 矯風会館 1階ホール (JR 大久保駅北口徒歩2分) 裏面に地図

講師 **加藤 純二 さん**

(宮千代加藤内科医院・院長、日本禁酒同盟前理事長) 裏面にプロフィール

体験談 **断酒修養会メンバー**

お問合せ：電話 03-3361-0934 (平日 9:30～17:00)

FAX 03-3361-1160

Eメール [kyofukai-somu@festa.ocn.ne.jp](mailto:kyofukai-somu@festa.ocn.ne.jp)

※申込み不要ですが、会場準備の都合上、前日までに矯風会のお問合せ電話番号にお知らせくださると助かります。

**参加無料**

共催：公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会・一般財団法人日本禁酒同盟

お酒の飲み方はいろいろ。

独り酒、寝酒、隠れ飲み…。家族や友人の飲み方がちょっと気になるな～、まさか依存症？  
「節酒と断酒、どちらがいい？」などなど相談されることの多い福祉事務所ワーカー、民生委員や教育関係者、  
キリスト教の牧師先生 etc. どなたでもご参加歓迎です。  
講師は、今年2月から登場した飲酒量低減薬「ナルメフェン」の問題性についても言及します。



## 講師紹介 加藤 純二 (かとう じゅんじ)

1970年、東北大学医学部卒。

医院で20年以上、週1回、断酒会に場所を提供。

1995年「未成年者飲酒禁止法を作った人 根本正伝」を執筆・出版。

宮千代加藤内科医院・院長、宮城県断酒連合会・顧問、

日本禁酒同盟・前理事長。日本アルコール関連問題学会所属。

宮城県断酒連盟顧問。日本フッ素研究会評議員。

薬害オンブズパーソン会議仙台支部会員。

## 一般財団法人日本禁酒同盟

日本禁酒同盟は、1887(明治20)年、東京・横浜の禁酒会の活動を母体として発足。

一貫して酒害の啓発と予防教育に取り組み、アルコール依存症当事者たちの例会(断酒修養会)とも連携してきた。2012年に一般財団法人に移行。断酒修養会メンバーの体験談をまとめた『初の断酒会を拓き断酒修養会を営む』を発行(2016年)。

武蔵野市に資料館を有す。

東京都武蔵野市西久保1丁目8-2

電話0422-54-8555

## 公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会

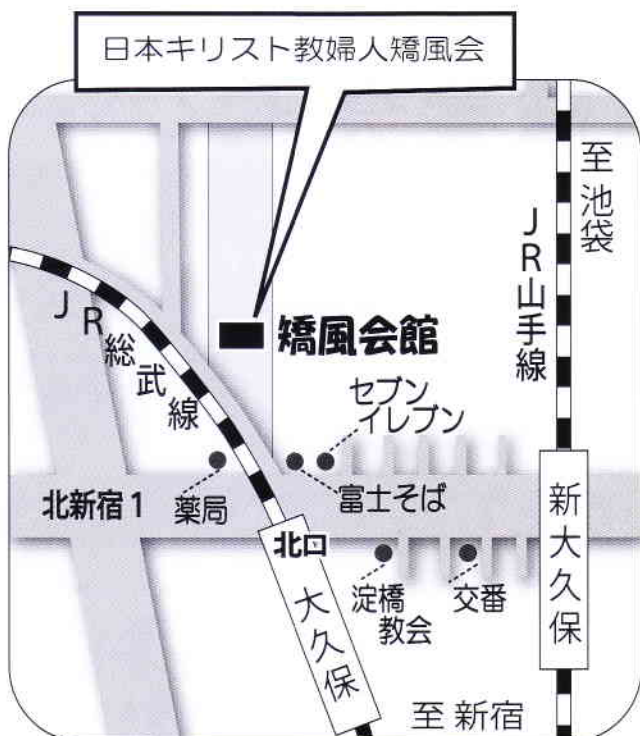
米国の禁酒運動に端を発すが、女性の地位向上をめざす矯風会という名称で1886年に発足。

創設期のメンバーは、禁酒同盟のあゆみに登場する者多数あり。

2012年に公益移行後は、女性の人権と福祉を活動の柱として、女性と子どもが安全に生きられる社会の実現という視点で、アディクション問題にも取り組んでいる。DV女性のシェルターを都内某所で運営。

東京都新宿区百人町2-23-5

電話03-3361-0934



JR 大久保駅北口下車 徒歩2分

改札を出たら道路(大久保通り)を渡る。

薬局と富士そばの間の細い道に入る。

頭の上にはJRのガードあり。

約20メートル先の右側のクリーム色

4階建ての建物が矯風会館。

正面ドアからお入りください。

JR 新大久保駅からは徒歩5分。

※会場の都合上、ぬれた傘は入口にてお預かりいたします。ご了承ください。